

学力・体力向上だより No.6

平成30年10月22日
北九州市立戸畑中央小学校

今回の通信では、今年度の全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組についてお知らせします。

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数、理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

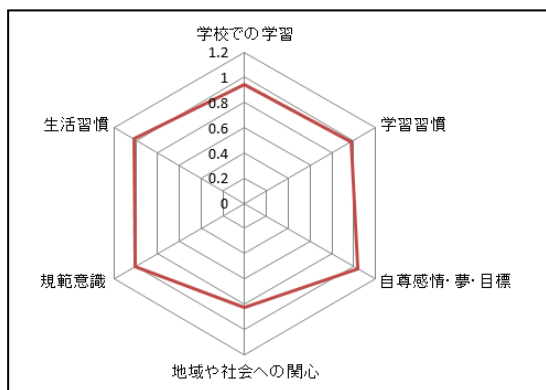
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語A	どの領域においても全国平均正答率を上回っていた。中でも昨年度は全国平均正答率を下回っていた「話すこと・聞くこと」の領域で全国平均正答率を上回ることができた。これは、日頃の取組の成果の表れだと捉えることができる。	全国平均正答率を上回っている。
国語B	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域においては、全国平均正答率を上回っていたものの、昨年度は全国平均正答率を上回っていた「読むこと」の領域において全国平均正答率を下回り、課題が見られる。	全国平均正答率と同程度である。
算数A	昨年度は全国平均正答率を下回っていたが、今年度は上回ることができ、日頃の取組の成果が表れてきている。しかし、領域別に見てみると、「数と計算」「数量関係」については、今年度も全国平均正答率をやや下回り、課題が見られる。	全国平均正答率を上回っている。
算数B	「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」すべての領域において全国平均正答率を上回っていた。中でも昨年度は全国平均正答率を下回っていた「図形」の領域で全国平均正答率を上回ることができ、日頃の取組の成果が表れてきている。	全国平均正答率を上回っている。
理科	A区分「物質」「エネルギー」、B区分「地球」においては、全国平均正答率を上回っていたが、B区分「生命」においては、全国平均正答率をやや下回る結果となった。また、知識に関する問題よりも活用に関する問題にやや課題が見られる。	全国平均正答率を上回っている。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



【質問紙調査の結果分析】

- ・学校での学習においては、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことや、話し合い活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることが、全国平均よりも低かったものの、昨年度の結果と比較するとその割合は伸びてきている。
- ・家庭での学習習慣については、自分で計画して学習する割合や平日の学習時間が昨年度の結果よりも大幅な伸びを見せ、全国平均に近づいてきている。今後も継続的な取組が必要だと考える。
- ・生活習慣や規範意識については、全国平均を上回っている項目が多く、しっかり定着してきている傾向にある。
- ・地域や社会への関心については、依然として全国平均よりも低いものの昨年度よりもその割合は伸びてきている。今後も学校と地域が一体となって地域や社会への関心を高めていく必要がある。
- ・自分には、よいところがあると感じている割合や、将来の夢や目標をもっている割合は、全国平均を上回っており、学校で様々な機会を通して成就感や達成感を味わうことが自信につながっていると考える。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- ・スクールプラン、児童の実態や授業改善に向けた課題をもとに学年プランを作成し、学力向上や授業力向上につながる授業づくりを行う。
- ・「戸畑中央スタディスタンダード～学び合いの基盤づくり～」をもとに落ち着いた学級づくりや授業づくりを行う。
- ・朝の活動の時間（ドリルタイム、読書タイム、音読暗唱など）を全校一斉に実施し、その定着を図る。
- ・毎週火曜日と金曜日の放課後に全校で補充・補習の時間に取り組む。また学力定着サポートシステムの基礎・基本定着問題や診断問題の積極的な活用を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習の時間やその取り組み方について、家庭学習チャレンジハンドブックなどを有効に活用して指導していくとともに、「学力・体力向上だより」を毎月発行し、家庭学習の大切さを保護者へ啓発していく。
- ・PTAと連携し、家庭読書の日、ノーテレビ・ノーゲームデーの実施や、携帯電話やスマートフォンの使い方や使用時間について積極的に啓発を行う。
- ・中学校区で家庭学習や生活習慣等についての情報交換を行い、中学校区における統一の生活習慣や学習習慣に関するきまりを作成する。